

毎月8のつく日は「早く家庭に帰る日」です!



発行所
岐阜県中小企業団体中央会

岐阜市藪田南5丁目14番53号
岐阜県民ふれあい会館8階
毎月20日発行 購読料年間1,500円(1部125円)

事務局直通電話
管理調整チーム 058-277-1100(代) 組織指導チーム 058-277-1101
広報・事業チーム 058-277-1102 情報チーム 058-277-1103
事務局 FAX 番号 058-273-3930
東濃支所 0572-25-0865 飛騨支所 0577-34-4300
東濃支所 FAX 番号 0572-23-7431 飛騨支所 FAX 番号 0577-36-4220



← 組合役員研修会



細寒天創作料理コンテストの最優秀作品 →

2007
7月号

主な記事

中央会の動き(組合役員研修会ほか)	2	事務局だより(研修会の案内ほか)	6~7
組合等の動き(創作料理コンテスト表彰式ほか)	3~4	2007年暑中見舞広告	8~13
6月の景況調査	5		

時の課題

去る6月4日、中央会は、十六銀行、商工中金と「LLP設立等に対する支援協力に関する基本協定」を締結した。中小企業の組織化を推進する中央会、地域経済や地元企業の情報が豊富で地域密着型金融を展開する十六銀行、全国的な情報に詳しく組織化を金融面から支援する商工中金が、それぞれ得意分野を提供しあって、LLPを始めとする中小企業の組織化、事業展開等に対し協力・連携し支援していこうというもので全国初の取組み。

LLP(有限責任事業組合)は、一昨年夏に新設された組織形態で、構成員全員の有限責任、組織の内部自治(内部組織、権限、利益配分等を契約で柔軟に設定可能)構成員課税(LLPに課税されず、個人に直接課税)といった特徴を持つもので、昨年12月末までに約1,660件(県内11件)設立されている。

このLLP、中小企業同士や異業種企業間等での共同研究や共同事業の展開、大学発ベンチャー等に関する産学の連携、専門知識・技術を持った人同士の共同事業の実施等、人の能力を重視する事業や企業間の共同事業の受け皿としての活用がなされている。組合や会員企業にとって、新事業進出等の際、使い

LLP等支援で3者協定

~十六銀行、商工中金と連携して支援

やすく設立も容易な組織形態ということだ。こうしたことから、中央会としてもLLPの組織化、運営の支援に積極的に取り組むこととし、説明会や個別相談会の開催、ポータルサイト(「岐阜連携ネット」<http://www.gifurenkei.net/>)の開設を行うとともに、今年度の事業計画でも重点事業の一つに位置づけている。

設立されたLLPの業種、組成理由、存続年数等については、石井芳明著 商事法務1770号参照

先日、3者協定の推進のための実務者会議が開催された。席上、商工中金からは全国で行っているLLP

に対する融資の状況が紹介されるとともに金融支援に積極的に対応すること、十六銀行からは金融支援のほか商談会や販路等関連企業の紹介も

可能であること等の意見が述べられた。また、具体的なケースについても、希望があれば実務者会議で事業展開まで含めた支援について協議する等、3者が連携し支援していくことを確認しあった。

この協定は、LLPだけでなく、事業協同組合、新連携体等への支援をも協力して行うこととしている。中央会の組織化支援に加え、従来以上にビジネス展開への支援ができる条件が整った。ぜひ、ご理解、ご利用願いたい。

組合役員研修会を開催

中央会では、6月20日に組合役員研修会「活力ある組合にするため組合役員に必要な知識と役割」を開催し、組合役職員ら約70人が参加した。

昨年と同様、この5月に新しく役員になられた方が多いと思われるため、組合役員の役割や責任について、理解を深めてもらうことを目的に開催した。

講師には、長年に亘り中小企業論について研究され、全国各地の中小企業及び組合に直接足を運び調査・研究活動を行っている明治大学の森下正教授から、組合役員として知っておきたい基本的な知識、義務や責任等のほか、活力ある組合にするために必

要な組合役員の役割について、他の組合の具体的な事例を交えながら説明した。

森下教授は、「組合事業の推進及び組合運営において、組合機能が円滑に働くためには、役員の果たす役割が非常に重要である。組合リーダーに求められる条件として、組合が属する業界通であること、情報収集能力やコミュニケーション能力が高いこと、リーダー企業の経営状態が良いこと、魅力的な人格などがある。組合改革を行うには、明確な理念とビジョンを策定し、これを組合員へ浸透させ、それぞれの役割分担を明確にすることが重要である。」と、組合役員に必要な知識と役割を説明した。

特許情報の活用について学ぶ

中央会は、6月27日にグランヴェール岐山で「知恵の源泉は特許情報にあり」をテーマに、オンダ国際特許事務所の恩田博宣会長によるセミナーを開催した。同事務所は、国内のみならず上海にも拠点を構え、全国でもトップクラスの実績を有している。

セミナーには、中央会の辻正会長も出席したほか、県内の企業経営者や開発担当者ら約40人が参加した。恩田会長は、「特許制度は、特許の内容を多くの人に公開し、利用するための制度である。特許情報の中

には、色々なヒントが隠されている。その一例として、特許申請時に書く請求項には重要事項を書くこととなっているが、逆に言えば書いてあることの一部を変えれば特許の範囲から除外されるということ。特許公報を見れば、新しい知恵がわいてくる。」などと話し、出席者は熱心にメモを取っていた。



県組合士協会が総会を開催

岐阜県中小企業組合士協会(市原敬夫会長)は、第30回通常総会を6月15日にホテルパークで開催した。

総会では、平成18年度事業報告、平成19年度事業計画など6議案について審議されほか、役員改選が行われ、20年以上の長きにわたり会長を務められた澤野美得氏から、市原敬夫新会長へと交代した。また、副会長の加納幹也氏、横山照雄氏も退任され、新たに藤岡正迪氏、木村幹夫氏が就任した。

総会後には研修会を開催し、商工中金岐阜支店の落合清次次長から「肌で感じた他県の元気な組合事

例」について発表された。引き続き行われた懇親会では、組合士が属する商工中金や組合の方々には混じり本会の組合士取得職員も出席して意見交換が行われたほか、昨年の組合士試験に合格し、新たに組合士を取得した4名に対し、市原会長から認定証が手渡された。

中央会では、組合の健全な発展の重要な戦力として、組合士の育成、普及を行っております。今年は12月2日(日)に試験が行われる予定で、9月上旬頃から申込みを開始します。受験準備の方法、テキスト等のお問い合わせは、組織指導チームまでご相談下さい。

岐阜眼鏡士認定講習会が開講

岐阜県眼鏡商業協同組合(木方伸一郎理事長)は、6月22日に岐阜市金町の岐阜市文化センターで、岐阜眼鏡士認定講習会開講式及び本会主催の研修会を実施した。

昨年は10人の新しい岐阜眼鏡士が誕生し、県内の

店舗で活躍している。今年は、3年間の講習の最初の年となり、10人が参加。開講式には、本会の大野専務理事も出席し、受講生を激励した。

また、この講習会は、眼鏡士更新のために必要な知識習得の講習会にもなっており、日頃それぞれの店舗等で活躍している眼鏡士も30人参加した。

助成事業を活用した組合に聞きました!

今年度、組合等活動支援事業を活用した岐阜県医薬品小売商業組合(神木紀男理事長)を紹介します。

テーマ「薬事法改正に伴う小売店の対応について」

組合を取り巻く環境は、大型ドラッグストアの出店や組合員の高齢化が進み、厳しい状況が続いている。昨年には薬事法の改正があり、小売店における販売制度・販売体制の見直しが盛り込まれるなど、組合員への影響が懸念される。また、組合では地域密着が重要な時代となり、ホームページ等を活用し

た情報化に取り組む必要があると考えており、法改正の概要と合わせて研修した。

神木理事長は、「助成事業を活用して、総代会終了後に初めて研修会を実施できた事は有意義であった。法改正の概要と情報化の重要性、特にホームページの活用について研修できたので、総代の皆さんには、この研修成果をそれぞれの地区の組合員の皆さんに伝えてもらいたい。」と話した。

組合等において、研修会等を実施される際には、本会で支援させていただきますので、組織指導チームまでご相談下さい。

県・商工中金が子育て支援企業に融資

商工組合中央金庫(瀬川俊文岐阜支店長)は、中央会との提携で創設した「ぎふ子育て応援企業ローン」について、初融資を行った。

融資の第1号となったのは、紳士服製造卸のワキタ(株)。早く家に帰る日を設定するなど、子育て支援に関する社内啓発に積極的に取り組んでいる。同

ローンは、県に子育て支援企業として登録し、中央会が推薦する企業に対して、優遇金利で運転資金や設備資金を融資する。

また、中央会が紹介して県の子育て支援企業登録制度の第1号として登録された、(株)東伸が、今年度創設された県の制度融資「子育て支援枠」を利用して、商工中金より融資を受けた。こちら、県内第1号となる。

細寒天創作料理コンテスト表彰式を開催

岐阜県寒天水産工業組合(西尾憲之理事長)は、「山岡細寒天」が地域ブランドとして商標登録されたことを記念して「寒天の里お料理コンテスト」を開催し、6月5日に優秀作品に対する表彰式が行われた。

10代から70代の幅広い年齢層の消費者から創作家庭料理53作品の応募があり、寒天料理の著書もある料理研究家の小菅陽子さんが委員長を務めた審査会

で審査の結果、最優秀賞には細寒天と豆腐などを使った「ヘルシーおやき」を考案した山岡町の大橋光枝さんが選ばれた。

表彰式では、西尾理事長が「空前の寒天ブームで寒天料理のアイデアは出尽くしたと思っていたが、多くの応募があり驚いた。現在、細寒天は和菓子の原材料に使われることが多いが、こうしたアイデア料理で需要を拡大したい。」と、今後の抱負を述べた。

また、同日には「第52回県寒天展示品評会」も行われ、農林水産大臣賞は西尾幸久さんが受賞した。

お年寄り宅の水回りを点検、修理

下呂管設備工業協同組合(田口登貴雄理事長)は、6月5日に下呂市内に暮らす高齢者宅の水回りなどの点検や修理を無償で行った。

この事業は、「水道週間(6月1~7日)」に合わせて3年前から行っており、組合員26社が事前に希

望があった132軒を訪問し、台所や風呂、トイレなどを点検した。組合では、「組合活動の一環として、ボランティアで毎年実施しており、皆さんに喜ばれている。水回りの点検は、普段はあまり行わない所である。特に高齢者は、トラブルの発見が遅れがちになる。水回りは生活に直結するため、異常が出る前に点検を行って欲しい。」と、話していた。

県医薬品卸(協)が創立50周年記念を祝う

岐阜県医薬品卸協同組合(林一成理事長)は、創立50周年記念講演会と祝賀会を6月14日に岐阜ブランドホテルで開催した。

記念講演会では、多摩大学の真野俊樹教授より「医療制度改革と医療の変化:今後の医療を占う」をテーマに約1時間の講演が行われ、続いて行われた祝賀会には、多数の来賓などおよそ100人が出席した。林理事長は「半世紀という組合の歴史を築けた

ことは多くの人の協力のおかげ。これからも医薬品を通して、地域の方々の健康福祉に貢献していきたい。」と、あいさつした。

当該組合は、設立時の25社から11社となったが、組合員の従業員の総数は約4倍に増加。組合では「組合の存在が組合員企業の成長に大きく貢献している。」と感想を話している。



県生コン組合が社会貢献事業を実施

岐阜県生コンクリート工業組合(雁部音吉理事長)は、6月14日に岐阜市西鶉の生コン会館で、社会福祉事業として献血活動を行った。献血活動は5年前から実施しており、組合員企業の従業員ら約120人

が献血に協力した。

また、組合では交通遺児の子どもらに役立ててもらうため、今年4月から組合員の工場に募金箱を設置しており、寄せられた募金を岐阜新聞岐阜放送社会事業団へ寄託した。

美容技術を競う大会を開催

岐阜県美容業生活衛生同業組合(宮田政生理事長)は、「第53回県美容技術選手権大会」を6月25日に各務原市産業文化センターで開催し、美容師ら約130人が参加して、日頃の訓練した技術を競った。

ワンディングやカット&ブローなど8つの競技が行われ、制限時間内にいかに美しく、正確に仕上げるかを競った。

なお、上位入賞者は、11月に群馬で開かれる全日本大会へ出場する。

組合員に服づくりを助言

岐阜婦人子供服工業組合(松原一廣理事長)は、6月27日に組合員向け講習会「着やすい、着心地のよいパターンづくりのためのセミナー」を開催し、組合員の従業員など約70人が参加した。

衣料製造の基礎となる型紙起しの技術を向上させ、質のよい製品づくりにつなげようと企画。講師の文化服装学院の教授でイトキンパターン技術顧問の稲荷田征講師からは、着やすさのポイントが説明され、技術的なアドバイスがなされた。

◆：飲酒運転による悲惨な交通事故の発生は後を絶ちません。飲酒運転は絶対にやめましょう。

【岐阜県交通安全対策協議会】

「飛騨の匠展」今月21日からスタート

高山市千鳥町の飛騨・世界生活文化センター内の県ミュージアムひだでは、7月21日から9月9日まで「飛騨の匠展」が開催される。

これは、**協同組合飛騨木工連合会**(北村斉理事長)が中心となった実行委員会が主催するもので、同市の指定文化財「高山市政記念館」を建てた大工棟梁の愛用の墨壺などのほか、木工や大工道具など約

300点が一堂に展示される。実行委員会では、「子供たちなど多くの人に足を運んでもらえるように夏休みに企画した。先人の技と、モノづくりの精神が伝わればと思う。」と話していた。

詳しくは、実行委員会事務局(0577-37-6111)までお問い合わせ下さい。



高山たばこ販売(協)が清掃活動

高山たばこ販売協同組合(長尾肇理事長)は、喫煙マナー向上の啓発と環境美化に取り組むため、高山陣屋前広場一帯で清掃活動を実施した。

この活動は、組合員らが参加して年数回行っており、この日も陣屋前や中橋周辺などで、たばこの吸

殻などのゴミを拾い集めた。組合では、「タバコのポイ捨ては街の美観を損なう。こうした活動を通じて、喫煙者に喫煙マナーの向上を求めていきたい。」と話した。

また、喫煙マナーを守る呼びかけを行うため、通行中の観光客らに携帯用灰皿を配布した。

流葉でトレッキングを開催

流葉観光開発協同組合(霜出孝弥理事長)は、飛騨市などと協力して「飛騨流葉トレッキング」を実施した。

今年で5回目となったこのイベントは、スキーの

オフシーズンの誘客対策として、新緑の山の幸の収穫を楽しんでもらおうと企画された。今年も子供からお年寄りまで70名を超える参加者があり、タケノコの収穫などを満喫した。ブナの新緑に包まれた尾根を歩き、参加者は心地よい汗を流した。

(協)高鷲観光協会が産学連携に取り組む

協同組合高鷲観光協会(和田繕長理事長)は、岐阜大学との共同研究に取り組み、十六地域振興財団の「岐阜大学産学連携推進助成金制度」を活用して、低脂肪分のチーズソース「カンコワイヨット」の開発に成功した。

組合員企業の(株)たかすファーマーズが中心となり、地場産品の牛乳を利用した新しい商品が作れないかと考え、牛乳から生クリームやバターを取った後に残る脱脂乳を原料に、超低脂肪乳製品の新商品開発に着手。目指す製品によく似た商品がフランスにあるという事で、現地への視察や、大学と連携して雑

菌の混入を防ぐ研究など、商品化にむけて取り組んできた。

低脂肪・高タンパクで体に良く、冷やしても固まらないチーズのため、野菜ドレッシングなどで利用できる。現在は、週に90個を生産しているが、今後、消費者の動向をうかがいながら増産していくとのこと。和田理事長は「この商品は美味しい牛乳がある所でしか作れない。ひるがの高原牛乳から作った高鷲の新しい名産品に育てていきたい。」と抱負を語った。



地域資源活用販路開拓等支援事業

県内から8件のプロジェクトが採択

中小企業庁で公募していた「地域資源活用新事業展開支援事業費補助金(地域資源活用販路開拓等支援事業)」に県内から8件のプロジェクトが採択された。

これは、今年度からスタートした「中小企業地域資源活用プログラム」における支援事業で、地域に

特色ある産業資源を活用した商品又はサービスの販路開拓に取り組む事業者を支援する補助事業。組合等では、岐阜婦人子供服工業組合、協同組合飛騨木工連合会、美濃焼輸出プロジェクトが選ばれ、展示会や見本市を開催する。その他、陶磁器関係で3件、刃物関係で1件、織物及びニット製造で1件が採択された。なお、同事業の2次募集が今月23日から開始されます。詳細は、組織指導チーム。

管工事の全国大会が岐阜で開催

全国管工事業協同組合連合会は、全国の管工事業者など約700名が出席し、6月20日に「第47回通常総会並びに全国大会」を岐阜市長良河畔の岐阜グランドホテルで開催した。

開催を担当した**岐阜県管設備工業協同組合**(戸島一博理事長)では、昨年度から準備を進め、大会の成功に向けて取り組んできた。開催地を代表して戸島理事長は「私共の業界は、生活移住環境整備の一翼を担っているという使命感を肝に銘じて、山積さ

れた課題を解決し、発展する必要があります。会員の皆様の絆を一層強くし、有意義な機会となることを念願するとともに、変化に富んだ豊かな自然、歴史と文化の岐阜県を楽しんで頂きたいと存じます。」とあいさつした。

また、翌日には、世界遺産の白川郷や高山を訪ねる記念旅行なども企画され、全国から集まった業界関係者らをもてなした。



景況感DI値2月連続下降

～ マイナス30台に～

6月景況調査

中央会が主要業種85組合(うち82組合による集計)を対象にまとめた『6月の特色』は次のとおり。

【6月の特色】組合から見た県内中小企業の特徴は 景況感DI値2月連続下降～マイナス30台に～ となっている。

6月の景気動向を前年同月比景況感DI値で見ると、DI値は、マイナス31となり、前月のマイナス27に対し、4ポイントの悪化となっている。景況感DI値は、4月の大幅な改善の動きの後、直近2ヶ月は連続して悪化し、マイナス30台に逆戻りするなど、景況悪化の動きとなっている。悪化要因は、悪化業種の増加割合が改善業種の増加割合を上回ったことによるものである。

他の主要な動向については、それぞれ前月の動向に対し、売上高DI値はマイナス29で2ポイント、販売価格DI値はマイナス7で2ポイントの悪化となった。収益状況DI値はマイナス31で2ポイントの改善の動きとなった。なお、売上高DI値は、4ヶ月連続の悪化と厳しい状況が続いている。

業種別の業況概況は、概ね前月と同様であるが、特記すべきこととして、鉄鋼・金属、一般機械、輸送用機器の業種区分が堅調を持続していること、商店街、建設業の業種区分では引き続き厳しい状況が続いていることがあげられる。

コメントでは、依然、材料価格、燃料費の値上りによるコスト増と価格転嫁難を指摘する意見が依然多く、一部に価格転嫁への理解が得られた業種も見られるが、多くの業種では、収益面は依然として厳しい状況が続いている。

県内中小企業主要業種の景気動向 (6月末調査)

表の見方：売上～景況感： 好転・増加 変わらず 悪化・減少

区分	業種	調査項目	売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感
食料品		牛乳・乳製品						
		豆腐						
		食肉(国産)						
		菓子						
		米						
繊維・同製品		寒天水産物						
		製麺						
木材・木製品		製材						
		銘木						
		集成材						
		家具(飛騨地区)						
紙・紙加工品		東濃ひのき						
		家庭紙						
印刷		特殊紙						
		紙加工品						
化学		印刷						
窯業・土石		プラスチック						
		陶磁器(工業)						
		陶磁器(輸出)						
窯業・土石		タイル						

区分	業種	調査項目	売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感		
窯業・土石		窯業原料								
		石灰								
		生コンクリート								
		砂利生産								
鉄鋼・金属		砕石生産								
		鑄物								
一般機械		刃物等金属製品(輸出)								
		刃物等金属製品(内需)								
電機機器		メッキ								
		電気機械器具								
輸送用機器		輸送用機器								
		各種物産品(観光)								
物産品		各種物産品(ギフト)								
卸売業		医薬品卸								
		電設資材卸								
		陶磁器産地卸								
		機械・工具販売								
小売業		青果販売								
		水産物商業								
		家電機器販売								
		メガネ販売								
		中古自動車販売								
		石油製品販売								
		共同店舗(東濃)								
		共同店舗(飛騨)								
商店街		生花販売								
		岐阜市商店街								
		大垣市商店街								
		多治見市商店街								
		恵那市商店街								
		高山市商店街								
		サービス業		自動車車体整備						
				自動車タイヤ整備						
				長良川畔旅館						
				下呂温泉旅館						
高山旅館										
クリーニング										
広告美術										
情報サービス業										
映像制作										
飲食業										
建設業		ビルメンテナンス								
		理容・美容業								
		土木(岐阜地区)								
		土木(飛騨地区)								
		土木・建築(羽島地区)								
		建築(各務原地区)								
		鉄構造物								
		電気工事								
		管設備工事								
		建築板金								
運輸業		木製建具								
		産直住宅(東白川地区)								
運輸業		貨物運送(県域)								
		軽運送								

事務局だより

8月2・3日の「組合まつり」にご来場下さい!!

中央会では、更なる活発な組合活動に資するため「組合まつり」を開催します。

2日には、テレビ番組「世界一受けたい授業」でも好評の中村智彦氏による講演と、元気に活動を続ける岐阜の組合から事例発表を行います。また、2・3日と2階のアトリウムにて、岐阜のいいものフェアを催し、様々な業界の逸品を展示販売致します。

多くの皆様の参加をお待ちしています。

日時及び場所 8月2日(木)・3日(金)

県民ふれあい会館

1. 「元気印の岐阜の組合」発表大会(2日 13時30分～15時30分 3階大会議室)

基調講演 13時30分～14時30分

テーマ:「連携の力で中小企業に活力を」～テレビ

の裏側に連携の力を見た～

講師: 神戸国際大学 経済学部 中村智彦教授
「元気印の岐阜の組合」発表大会 14時30分～15時15分

テーマ:「中小企業の未来を創る組合活動」

発表組合 飛騨杉研究開発(協)・武芸川町特産品開発(協)・(協)ケーエスジー

2. 「組合発! 岐阜いいもの物産フェア～岐阜の逸品自慢～」(両日とも15時～21時 2階アトリウム)

ここでしか見ること(買うこと)ができない!

「岐阜ならではの特色ある煎餅・和菓子や麺類等の食品」, 「職人の技が光る東濃ひのきや長良杉の木工品等」, 「伝統ある美濃焼・関の刃物・美濃和紙のクラフト製品」, 「組合等が心血を注いで開発している各種製品」等々、必見です。

お問い合わせは、組織指導チーム。

近日開催! 「PR戦略セミナー」

中央会では、マスコミへの情報提供、組合のホームページや会報紙作成の参考とするためのセミナーを開催します。

【日時】 7月25日(水) 13:30～15:30

【場所】 県民ふれあい会館 14階

【内容】 「報道機関の現場から見た魅力ある情報とは?」岐阜新聞社 報道部長 野村克之氏
事例発表

岐阜県陶磁器工業協同組合連合会

岐阜県金属団地協同組合

参加を希望される方は、広報・事業チームまでお問い合わせ下さい。

県下3会場で「仕事と家庭両立推進セミナー」

中央会が後援する「仕事と家庭両立推進セミナー」(主催=財団21世紀職業財団)が、県下3会場で開催されます。

財団の平田芳子岐阜所長から「働き続けやすい企業づくりのポイント」について説明されるほか、本会の大野嘉弘専務理事からは「中小企業の子育て支援」をテーマに発表します。また、両立支援に取り

組む企業からの事例発表、一般事業主行動計画の策定についても説明があります。

お問い合わせは、管理調整チーム又は財団21世紀職業財団(058-266-5033)まで。

【日時・会場】 「岐阜会場」7月24日(火)・岐阜市文化センター(展示室)「恵那会場」7月26日(木)・恵那市役所(大会議室)「美濃加茂会場」7月30日(月)・美濃加茂商工会議所(大会議室)いずれの会場も13:30～15:30で実施します。

中央会后援「人事・労務管理セミナー」

中央会が後援する「よりよい人事・労務管理セミナー」(岐阜労働局、県などの共催)が、開催されます。

日時: 8月3日(金) 13時～16時30分

場所: ソフトピアジャパン セミナーホール

テーマ: 「非正規労働者をめぐる現況と課題」, 「非正規労働者の雇用を考える」, 税制適格退職金の移行と中小企業退職金共済制度
詳細は、中央会・管理調整チーム又は県労働雇用課までお問い合わせ下さい。

雇用保険制度一部改正のお知らせ

失業等給付に係る改正が本年10月から施行されます。改正の主な内容は、短時間労働被保険者の被保険者区分をなくし被保険者資格と受給資格要件を一般被保険者として一本化することに伴い、離職票の

作成方法等が大きく変わるなど、多くの事業主や被保険者に影響が生ずるものとなっています。また、育児休業給付の給付率、教育訓練給付の要件・内容、短期雇用特例一時金の給付水準等も変更になります。
詳しくは、岐阜労働局職業安定課(058-263-5519)又はハローワークにお問い合わせ下さい。

「暑中見舞い広告」のお礼

この度、『岐阜県中小企業情報』における「暑中見舞い広告」(7月号・第573号)に多数のご協賛・ご協力を賜り、誠にありがとうございました。

また、会員組合の皆様方が取り込まれる研修会、イベント等につきまして、本紙紙面で掲載させて頂きまますので、情報提供をお待ちしております。
ご連絡は、広報・事業チームまでお願いします。

「下呂温泉まつり」開催のお知らせ! 8月1日(水)～3日(金) 様々なイベントが行われます。お問い合わせは、下呂市観光課(0576-24-2222) 【下呂温泉まつり実行委員会】

組合員の人材育成に活用できます!

県では今年度から、各中小企業団体や地域でまとまったニーズの提案を受け、緊急性、重要性の高いものについて、委託形式で研修を実施する団体を募集しています。組合等で人材育成に関する研修会等を実施する際にはご活用下さい。なお、締切が7月26日までとなっております。研修内容についても諸条件がございますので、詳しくは、ホームページ(<http://www.pref.gifu.lg.jp/contents/news/s113/s11367/>)又は、県労働雇用課の産業人材育成担当(TEL 058-

272-1111・内3127)まで、お問い合わせ下さい。

また、(独法)雇用・能力開発機構では若者を現場の中核人材として育てる新しい訓練システム「実践型人材養成システム」を開始しました。企業が訓練実施計画を作成し、厚生労働大臣認定を受けて訓練生を募集して実施するものです。認定を受けた際には、同機構の助成制度が活用できます。詳しくは、ホームページ(<http://www.ehdo.go.jp/gifu/>)又は同機構岐阜センター(058-265-5800)まで、お問い合わせ下さい。

新規高卒者等の就職に関する要望

岐阜県高等学校長協会の田村弘司会長が6月28日中央会を訪問され、新規高等学校卒業者の就職に関する要望があった。その要旨は次のとおり。

『本県には、高等学校及び特別支援学校(従前の盲・聾・養護学校)を卒業後、直ちに就職を希望する生徒が多数おり、優秀な人材ばかりです。将来を担う若者が希望や適性等を活かすことの出来る職場を提供して頂きますよう、特段のご理解とご配慮をお願い申し上げます。』

また、岐阜労働局職業安定部長・県産業労働部長・

県教育委員会教育長からは、次の内容が盛り込まれた要望書が提出された。

『新規高等学校卒業予定者の期待に応えた幅広い職業選択の機会をいただけるよう、求人枠の確保及び夏休み前までの早い段階でのハローワークへの求人申込みについて格別のご理解を賜るとともに、高校生が県内の産業や企業について理解を深め、就労を体験できるインターンシップの機会を提供いただきたい。』

組合及び組合員企業の皆様方のご協力をお願いします。

中央会会費納入のお願い

中央会では、『第52回通常総会』でご承認頂きました「平成19年度会費」につきまして、6月下旬に文書にて会費のご請求をさせて頂きました。

会員各位におかれましては、厳しい経済環境の折、誠に恐縮に存じますが、9月末日までに納入頂きますようお願い申し上げます。

また、振込依頼書の振込金受取書をもって領収証に代えさせて頂きませんが、別途領収書が必要な場合には領収書を発行致しますので、ご連絡下さい。

お問い合わせは、管理調整チーム(058-277-1100)。

商工中金岐阜支店長に瀬川氏

商工組合中央金庫は、7月11日付けの人事異動で、岐阜支店長に東京支店営業第二部長の瀬川俊文氏が就任した。なお、前任者の長谷川昌和氏は、金沢支店長に就任された。

中央会・人事異動

7月1日付けで次のとおり人事異動を行いました。
組織指導チームスタッフ=小林寛司(飛騨支所)



8月中

2・3日 組合まつり(2日 = 「元気印の岐阜の組合」発表大会13

時30分 ~ / 県民ふれあい会館)

パソコン研修

【Excel 応用講座】21日(中濃会場) / 【Excel 活

用講座】8日(東濃会場)・9日(岐阜会場)・23日(飛騨会場)・29日(中濃会場) / 【ホームページメンテナンス講座】22日(東濃会場)

パソコン研修の日程は、本紙6月号に掲載しております。申込締切後の講座でもまだ余裕がある場合がございますので、情報チームまでお問い合わせ下さい。

6月21日~30日

22日 官公需適格組合審査諮問委員会(中部経済産業局)

26日 高齢者雇用推進委員会(岐阜労働局)

7月1日~20日

5日 岐阜中金会・経営者セミナー(オースタット国際ホテル多治見)

10日 ぎふ少子化対策県民連携会議・仕事と家庭両立部会(県庁)

11日 岐阜県産業経済戦略会議(県庁)

12日 雇用・能力開発機構運営協議会(雇用・能力開発機構岐阜センター)

雇用均等行政補助員並びに子育てしやすい職場づくり推進協力員会議(岐阜合同庁舎)

18日 東海・北陸ブロック事務局代表者会議(石川県)

20日 ぎふ少子化対策県民連携会議(グランヴェール岐山)

飛騨中金会(ひだホテルプラザ)



「でんき安全フェスティバル」開催のお知らせ! 8月4日(土)~5日(日)10時~17時 於「マーサ21」セントラルコート」多くの皆様の「ご来場をお待ちしております!

【岐阜県電気工業業工業組合】